

公益社団法人日本地下水学会 2024年秋季大会シンポジウム

越後平野の恵み

2024年

10月18日(金)

どなたでも参加頂けます

13:30~16:30

参加無料：定員200名

アオーレ長岡 市民交流ホールA (長岡市大手通1-4-10 TEL 0258-39-2500)

世界有数の豪雪地にある越後平野。その地下には天然ガスや地下水が豊富に賦存していた。明治初期には水溶性天然ガスの開発が始まり、昭和36年には消雪パイプが設置され普及していった。これらの地下水資源の利用は雪国を豊かにした一方で、深刻な地盤沈下を引き起こしてきた。

そこで、行政と研究者や技術者たちは持続可能な地下水資源の活用を目指し、知恵を絞ってきた。このシンポジウムでは、越後平野の地下水資源保全の取り組みを振り返りつつ、この豊かな地下水資源を未来へ繋ぐ方策を探っていききたい。

● プログラム

- ・ シンポジウムの開催にあたり (公社) 日本地下水学会 会長 杉田 文
- ・ 第一部「越後平野の地下水資源保全の取り組み」
 - (1) 越後平野の地下水流動と涵養
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地圏資源環境研究部門 前地下水研究グループ長 町田 功 氏
 - (2) 越後平野の地盤沈下と規制の経過
株式会社キタック 顧問 (元新潟県県民生活・環境部) 関谷 一義 氏
 - (3) 消雪パイプ発祥の地「長岡」の取り組み
長岡市環境部環境政策課 課長 里村 誠 氏
 - (4) 消雪パイプの節水技術と地下水熱・地中熱利用
一般社団法人新潟県融雪技術協会 技術委員長 小酒 欽弥 氏
 - (5) 水溶性天然ガスの持続可能な開発へのチャレンジ
株式会社東邦アーステック エネルギー事業本部生産部鉱業グループ 堀川 達智 氏
 - (6) 越後平野の近年の地下水位の状況
株式会社興和 水工部 技師長 藤野 丈志 氏
- ・ 第二部 パネルディスカッション「豊かな地下水資源を未来へ繋ぐために」
進行：実行委員長 坂東 和郎 (株式会社興和、新潟県地中熱利用促進協議会)

申込み

当日会場にて受け付けしてください

(但し、地下水学会秋季講演会参加者は、学会HPからお申込み下さい)

問合せ先

公益社団法人日本地下水学会 2024年秋季講演会長岡大会 実行委員会
Mail: chikasui@nifty.com Tel: 025-281-8818 (株) 興和内

● 主催 公益社団法人日本地下水学会

● 後援 長岡市、公益社団法人日本技術士会北陸本部、一般社団法人新潟県融雪技術協会、一般社団法人日本応用地質学会北陸支部、特定非営利活動法人水環境技術研究会、新潟県地中熱利用促進協議会

地下水資源活用の知恵